

平成26年11月 全国百貨店売上高概況

平成26年12月19日

I. 概況

1. 売上高総額	5,581億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	83社 239店 (平成26年10月対比+1店)
4. 総店舗面積	6,102,270㎡ (前年同月比:-2.2%)
5. 総従業員数	78,563人 (前年同月比:-2.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	4-6月 -6.9%、5-7月 -3.7%、6-8月 -2.6%、 7-9月 -1.3%、8-10月 -1.1%、9-11月 -1.3%

[参考] 平成25年11月の売上高増減率は2.4% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

8か月連続のマイナスとなったが、減少率は-1.0%と前月(-2.2%)から1.2ポイント改善している。

本年11月は、付加価値志向の高まりで高額品が堅調に推移したほか、前年に比べ休日(日曜・祝日各1日増)が2日増加するなどプラス要素があった半面、平均気温が高めに推移したことで主力の冬物重衣料(衣料品:-3.2%)が不振だったことや地方店の苦戦などから、最終的には前年実績に若干届かなかった。これにより本年1月-11月累計売上高は、5兆5,017億円余(前年同期比:店舗数調整後+0.6%/店舗数調整前+0.2%)となった。

地区別では、大都市(10都市:+0.1%)が3か月ぶりにプラスとなる一方、地方店(10都市以外:-3.1%)については、前月(-4.8%)から1.7ポイント改善したものの、地方経済の回復の遅れもあって8か月連続で前年実績を下回った。

商品別には、天候要因で苦戦した衣料品と、前年の高い伸びの反動で家庭用品(前年:+5.7%⇒本年:-5.8%)が前年実績を下回ったが、好調なアイテムとしては、インバウンドの活況もあって化粧品(+6.3%)が5か月連続で増勢を維持しているほか、ラグジュアリーブランドを含む身のまわり品(+2.4%)や、ほぼ前年並みの水準まで戻した美術・宝飾・貴金属(-0.6%)など高額商材も回復基調を示している。また、食料品(-0.6%)も前年に迫る水準で推移した。

訪日外国人売上高は、免税制度改正による対象品目拡大や円安・ビザ緩和などの効果を背景に、売上高(約92億円/+156.4%)・購買客数(+179.8%)共に一段と増勢(22か月連続プラス)を強め、単月で過去最高の売上高を更新するなど、引き続き大都市の商況を底上げしている。

【要因】

- (1) 天候： 気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇ 日本付近は中旬を除き北からの寒気の影響が弱く、全国的に月平均気温が高くなった。降水量は、北・東日本の日本海側で少なく、他地区では平年並みだった。中旬には一時的に強い寒気が流れ込み大雪となる地域もあった。
- (2) 営業日数増減 29.7日(前年同月比-0.2日)
- (3) 土・日・祝日の合計 12日(" +2日/日曜・祝日各1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)
①増加した:35店、②変化なし:44店、③減少した:58店
- (5) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上/有効回答数106店舗)
①増加した:18店、②変化なし:56店、③減少した:32店

全国百貨店 売上高速報 2014年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	558,122,473	100.0	-1.0 (-1.3)
10都市	376,015,414	67.4	0.1 (-0.1)
札幌	13,480,230	2.4	0.4
仙台	7,579,958	1.4	-5.4
東京	145,920,910	26.1	0.3
横浜	34,250,043	6.1	0.0
名古屋	33,892,887	6.1	0.2
京都	21,854,904	3.9	-7.7 (-10.4)
大阪	75,244,813	13.5	2.4
神戸	14,194,610	2.5	-1.3
広島	11,639,671	2.1	-0.6
福岡	17,957,388	3.2	3.2
10都市以外の地区	182,107,059	32.6	-3.1 (-3.7)
北海道	2,896,103	0.5	-2.9
東北	9,356,158	1.7	-2.9
関東	86,370,757	15.5	-4.2 (-4.1)
中部	13,428,635	2.4	-3.2
近畿	18,096,473	3.2	-2.9
中国	13,035,416	2.3	-1.0
四国	9,482,330	1.7	0.7 (-6.2)
九州	29,441,187	5.3	-1.9 (-3.8)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	558,122,473	100.0	-1.0 (-1.3)
紳士服・洋品	44,846,790	8.0	-0.5 (-0.7)
婦人服・洋品	120,686,801	21.6	-4.3 (-4.7)
子供服・洋品	11,663,778	2.1	-0.2 (-0.4)
その他衣料品	12,996,397	2.3	-4.8 (-5.0)
衣 料 品	190,193,766	34.1	-3.2 (-3.6)
身のまわり品	66,108,002	11.8	2.4 (2.1)
化粧品	33,082,676	5.9	6.3 (6.2)
美術・宝飾・貴金属	28,029,107	5.0	-0.6 (-0.8)
その他雑貨	20,831,177	3.7	-0.4 (-1.1)
雑 貨	81,942,960	14.7	2.1 (1.8)
家 具	6,190,135	1.1	-10.1 (-10.4)
家 電	2,131,422	0.4	-24.3 (-24.3)
その他家庭用品	17,521,840	3.1	-1.1 (-1.4)
家 庭 用 品	25,843,397	4.6	-5.8 (-6.0)
生 鮮 食 品	34,842,070	6.2	-2.1 (-2.7)
菓 子	39,020,782	7.0	0.5 (0.2)
惣 菜	33,363,950	6.0	-0.2 (-0.4)
その他食料品	56,195,134	10.1	-0.7 (-1.1)
食 料 品	163,421,936	29.3	-0.6 (-1.0)
食 堂 喫 茶	14,181,175	2.5	0.3 (0.1)
サ ー ビ ス	6,092,741	1.1	4.0 (4.0)
そ の 他	10,338,496	1.9	-0.3 (-1.0)
商 品 券	20,401,493	3.7	-3.4 (-3.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 0.1% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.1% (店舗数調整後/8か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.1	0.1	3か月ぶりプラス
札幌	0.4	0.0	8か月ぶりプラス
仙台	-5.4	-0.1	8か月連続マイナス
東京	0.3	0.1	2か月ぶりプラス
横浜	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス
名古屋	0.2	0.0	2か月ぶりプラス
京都	-7.7	-0.3	8か月連続マイナス
大阪	2.4	0.3	5か月連続プラス
神戸	-1.3	0.0	3か月連続マイナス
広島	-0.6	0.0	8か月連続マイナス
福岡	3.2	0.1	2か月連続プラス
10都市以外の地区	-3.1	-1.0	8か月連続マイナス
北海道	-2.9	0.0	8か月連続マイナス*
東北	-2.9	0.0	8か月連続マイナス*
関東	-4.2	-0.7	8か月連続マイナス
中部	-3.2	-0.1	2か月連続マイナス
近畿	-2.9	-0.1	8か月連続マイナス
中国	-1.0	0.0	8か月連続マイナス*
四国	0.7	0.0	2か月ぶりプラス
九州	-1.9	-0.1	8か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が3か月ぶりのプラス。衣料品が2か月連続、家庭用品と食料品が8か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が5か月連続、菓子が2か月連続のプラスとなった。その他では、紳士服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、家具、その他家庭用品、生鮮食品、その他食料品が先月より改善をみせた。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.0	-	8か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.3	-1.0	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.2	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-4.8	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	-3.2	-1.1	2か月連続マイナス
身のまわり品	2.4	0.3	3か月ぶりプラス
化粧品	6.3	0.3	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.6	0.0	8か月連続マイナス*
その他雑貨	-0.4	0.0	3か月連続マイナス*
雑貨	2.1	0.3	3か月ぶりプラス
家具	-10.1	-0.1	8か月連続マイナス
家電	-24.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-1.1	0.0	3か月連続マイナス
家庭用品	-5.8	-0.3	8か月連続マイナス
生鮮食品	-2.1	-0.1	8か月連続マイナス*
菓子	0.5	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	-0.2	0.0	3か月連続マイナス*
その他食料品	-0.7	-0.1	8か月連続マイナス*
食料品	-0.6	-0.2	8か月連続マイナス
食堂喫茶	0.3	0.0	8か月ぶりプラス
サービス	4.0	0.0	6か月ぶりプラス
その他	-0.3	0.0	3か月連続マイナス
商品券	-3.4	-0.1	45か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>